

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年9月25日

【2017年9月16日～2017年9月22日までの推移】

【1】先週の回顧

先週レアルは、対円では上昇しましたが、対米ドルでは下落しました。2年国債金利は低下しました。

発表されたインフレ率が市場予想を下回ったことで、利下げ観測が高まり、短中期の年限を中心に金利は低下しました。また、代表的な株価指数が最高値を更新したことや、中央銀行が発表したインフレ報告書においてGDP(国内総生産)成長率が上方修正されたことなどから、レアルは上昇しました。

一方、米国のFOMC(米国連邦公開市場委員会)では、バランスシートの正常化を10月から開始することが決定されました。FOMC参加者の大半が年内の追加利上げを想定したことで米ドルが上昇し、対米ドルではレアルは下落しました。

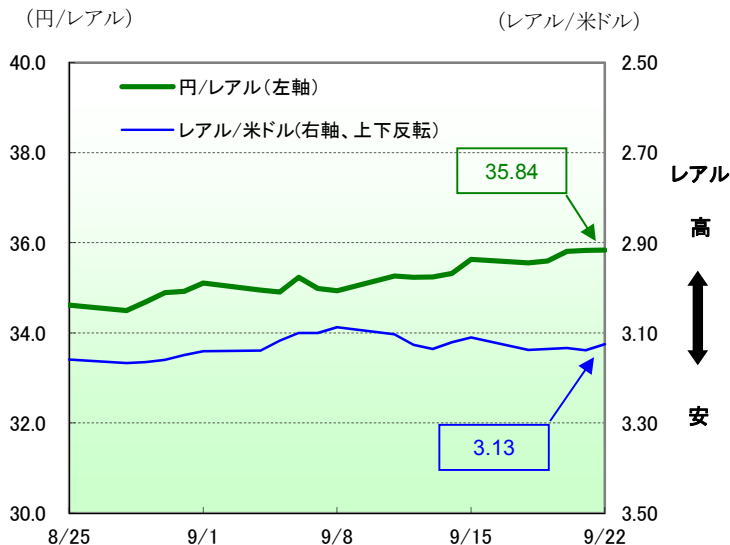
【2】今週の見通し

今週は、プライマリー・バランス(基礎的財政収支)などの経済指標が発表されますが、経済指標よりも政治的なイベントに注目が集まるとみています。

テメル大統領の支持率が低迷しているなか、汚職疑惑問題をめぐり、テメル大統領は2回目の起訴をされました。最高裁判所での審理開始を判断する国会の採決は否決になると見込まれていますが、社会保障改革法案の審議・採決が先送りされる懸念があります。政府や議会が改革を進める意志は強いとみられるものの、政局の動きや、それを踏まえた今後の財政再建の行方を注視していく必要があると考えています。

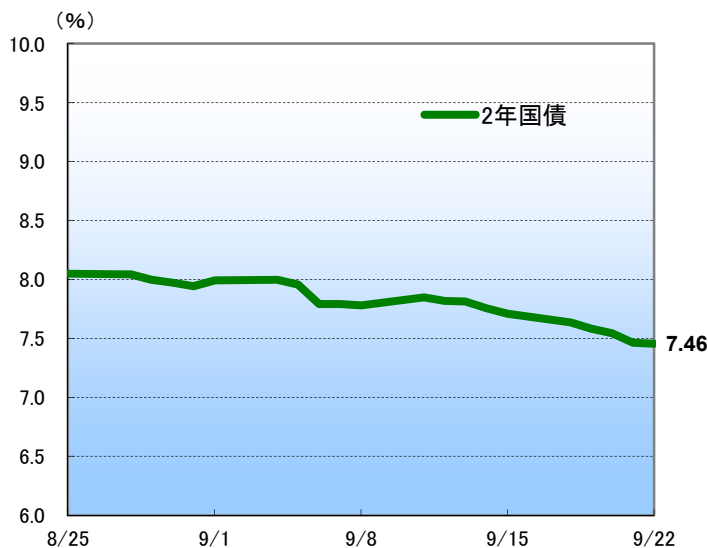
政府や議会が社会保障改革などの構造改革を着実に進める場合は、ブラジル経済に対する信認改善や利下げによる景気回復と相まって、レアルの下支えになると期待されます。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年8月25日～2017年9月22日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年8月25日～2017年9月22日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management